

経営効率化の概況

2023年度の経営効率化の取り組み

- 北電グループ経営基盤強化推進委員会のもと、資機材調達コストの低減や工事工程の見直しなど、効率化・コスト低減の積上げとして、料金改定時にお示した経営効率化計画の2023年度目標額627億円を上回る、680億円の効率化を達成しました。一方、効率化計画に対する国の審査等での査定結果に対しては、一部において未達の状況です。

(億円/年)

費目	料金改定における効率化			主な取り組み内容	実績金額	増減
	効率化計画	査定金額	合計			
人件費	7	－	7	・ 業務効率化による人員削減	7	0
需給関係費	407	－	407	・ 発電所の定期検査・オーバーホール等期間短縮 ・ 燃料調達の工夫	446	39
設備投資関連費用	1	10	11	・ 新工法の導入等による工事費の低減	1	▲9
修繕費	114	38	152	・ 効果的な発注方式適用等による資機材調達コストの低減 ・ 工事内容・工法、工事実施時期の見直し (設備補修工事の厳選、工事・点検周期の見直し)	114	▲37
諸経費等	97	57	153	・ 効果的な発注方式適用等による資機材調達コストの低減 ・ 販売業務プロセスの見直し (委託内容の見直し)	110	▲43
合計	627	105	731		680	▲50

※ 端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。

2024年度の経営効率化の取り組み

- 2024年度の経営効率化については、カイゼン活動などの取り組みを通じ、効率化・コスト低減を一層強力に進め、電気料金の見直しにおいて反映した経営効率化計画670億円程度を確実に達成した上で、国の審査等での査定結果にも対応するべく、さらに高い水準の効率化を目指して積極的に取り組んでいます。

◆ 今回の料金改定に織り込んだ経営効率化額の内訳（2024年度）

（億円／年）

費目	経営効率化計画		査定金額	合計
	主な取り組み内容	金額		
人件費	<ul style="list-style-type: none"> 組織・業務運営体制のさらなる見直し カイゼン深化、DX等によるさらなる業務効率化 	10	－	10
需給関係費	<ul style="list-style-type: none"> 経済性向上に向けた電源構成の最適化、経済性の高い電源の有効活用 燃料調達のさらなる工夫 （契約多様化、低品位炭調達拡大、LNG長期契約拡大等） AIを活用した電力需給運用のさらなる高度化 	410	－	410
設備投資 関連費用	<ul style="list-style-type: none"> 定期点検の周期延伸、新技術・新工法の開発・導入 工事・委託の実施内容・範囲の見直し 	4 (23)	10 (29)	14 (52)
修繕費	<ul style="list-style-type: none"> 価格交渉力の強化や効果的な発注方式適用、上流調達活動等によるさらなる資機材調達コスト低減 	116	38	155
諸経費等	<ul style="list-style-type: none"> カイゼン深化、DX等によるさらなるコスト低減 	126	57	183
合計		666	105	771

※ 設備投資関連費用の効率化額は、減価償却費および事業報酬に反映されている金額を記載しています。

金額下段（ ）内は設備投資への反映額を示しています。

※ 端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。